

第82期 報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで



株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜りまことにありがたく、御礼申し上げます。ここに第82期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)報告書をお届けし、第82期の業績の概況、事業の概況、経営方針につきましてご説明いたします。



取締役会長 好川 純一

取締役社長 豊田 周平

業績の概況

連結売上高につきましては、シート、ドアトリムなどの増産により、前期に比べ2,051億円(23.4%)増加の1兆827億円となりました。うちシート、トリムなどの内装品は、前期に比べ1,916億円(24.5%)増加の9,735億円となり、フィルター・パワートレイン機器部品は、エアフィルターなどの増産により、前期に比べ77億円(11.3%)増加の761億円となり、繊維・外装品他は、前期に比べ57億円(21.0%)増加の330億円となりました。

連結経常利益は、製品価格の変動や労務費の増加などの減要因がありましたものの、増産増収の効果、グループあげての合理化などにより、前期に比べ143億円(37.8%)増加の521億円となりました。さらに連結当期純利益につきましては、前期に比べ89億円(42.1%)増加の301億円となりました。

当期の配当金につきましては、昨年11月に中間配当金として1株につき9円をお支払いさせていただきましたが、期末の配当金につきましては、連結売上高1兆円達成記念配当として2円を加え6円増配の15円とし、年間いたしましたは前期に比べ8円増配の1株につき24円とさせていただきます。

事業の概況

当社グループは自動車用内装システムサプライヤーとして、提案力の強化を進めており、国内ではトヨタ自動車株式会社のグローバル車種であるカローラおよびレクサスブランドの旗艦車種LSが生産開始となりました。また自動車用フィルター総合メーカーとして性能向上や低コスト化に加え、モジュール化、システム化、環境対応、快適性向上など社会のニーズにマッチしたより付加価値の高い新製品の開発と生産に注力してまいりました。

新経営体制といたしまして(1)ミッションを明確にするとともに、各事業に横串をさし、業務を一体化する目的で「本部制」を、また(2)世

界の4つの地域を機能横断的に管理統括するため「グローバル地域統括制」を採用して各事業を推進してまいりました。グローバル展開といたしましては、世界各地域でお客様のニーズに応えられる生産・供給体制の構築に取り組み、新たな生産拠点としてロシア、カナダに各1社設立したほか中国で3社、南アフリカとフランスで各1社が生産を開始しました。また国内につきましては生産拠点として滋賀県に1社設立しました。

経営方針

急速な海外展開を進めるなか、当社グループでは真のグローバルカンパニーを志向して、新技術・新製品を世界に提供する競争基盤を一層強化してまいりました。今後も「よき企業市民として社会との調和ある成長を目指す」という基本理念のもと、株主のみなさまをはじめお客様、従業員、地域社会のみなさまの信頼に応えるとともに「モノづくり」の精神を大切に、2010年代半ばに「世界トップレベルの内装システムサプライヤー・フィルターメーカーとして、世界各地域で活躍できる真のグローバルカンパニー」となることを目指してまいります。その基盤を確立するため、2010年までを「第2の創業期」と位置づけ、真のグローバルカンパニーへの「足元固めのための取り組み」と「将来の発展のための先行施策の取り組み」の両面から実力強化への施策を積極的に推進し、2010年度連結売上高1兆3,000億円、経常利益率5%を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

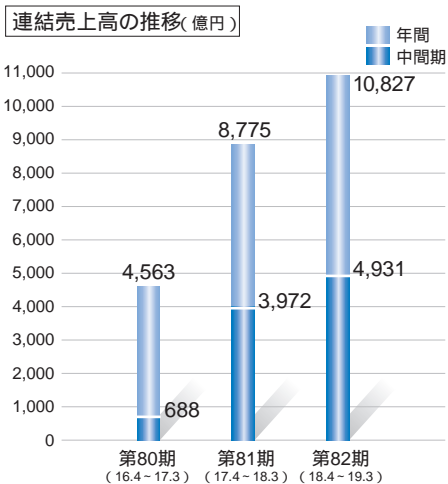
取締役会長

好川 純一

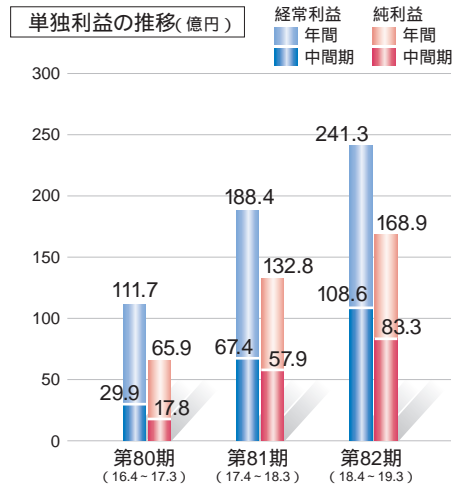
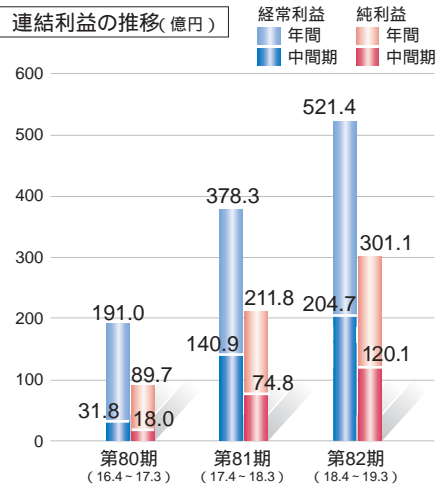
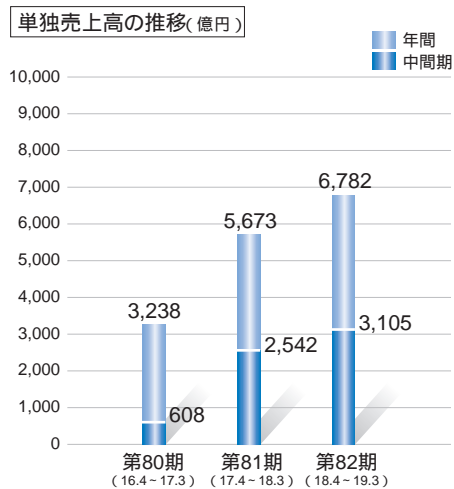
取締役社長

豊田 周平

連結決算



単独決算

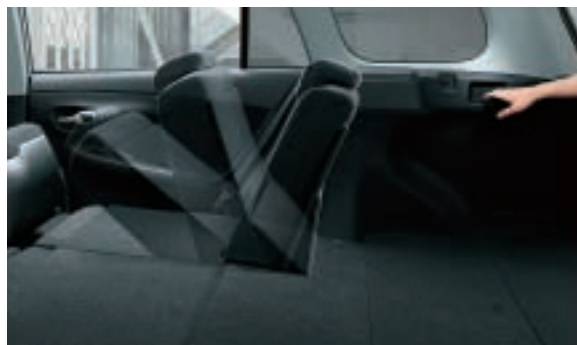




COROLLA Fielder
【トヨタカローラフィールダー】

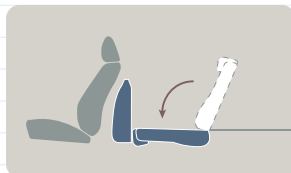
ワンタッチ格納リヤシート

関東自動車工業 (株) (株) ソミック石川と共同開発



ワンタッチ操作でのダブルフォールド機構。

従来のダブルフォールドリヤシートは収納効率こそ良好でしたが、格納に要する操作回数が多く改善が望まれていました。今回、開発したダブルフォールド機構は、バックドア側からラゲージルームの操作レバーを引くだけでリヤシートの座面が跳ね上がると同時に、背もたれが前倒しになりフルフラット状態に。また動作がひときわスムーズになるよう、ディスクダンパー（減速装置）を専用設計し、パネとの組み合わせを何度も変えながら最適にチューニングしました。



座面が跳ね上がると同時に背もたれが倒れる



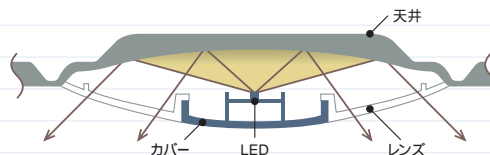
BLADE
【トヨタブレイド】

天井大型イルミネーション



設計から組み立てまで、一貫して当社で担当。

初めての挑戦として天井イルミネーションの設計から生産までトータルに取り組みました。従来のランプハウジングを廃止し、天井本体をハウジングとして活用。表情豊かな間接光を実現するとともに、大型イルミネーションを組み込んだ天井モジュールを完成させました。また電子部品はホコリや静電気を嫌うため、工程をすべてクリーンルーム内に収め作業も帯電防止服・手袋を着用するなど、品質に十分配慮した体制で生産しています。

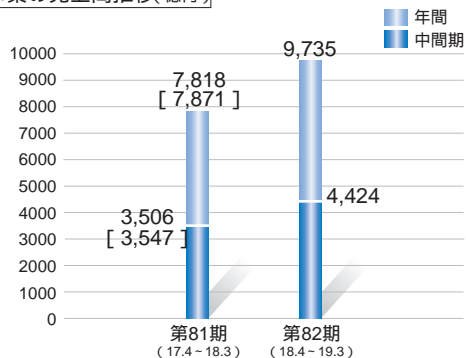


内装品事業——社会の、そして自動車メーカーのますます高度化するニーズに応じて、売上高9,735億円を実現。

当社は車室内全体をトータルに捉え、車室空間全体のコンセプトづくりから開発・設計・調達・生産まで一貫して行う内装システムサプライヤーとして独自の地位を築いており、車両メーカーや仕入先との緊密な連携のもと、初期段階から車室空間の開発に携わって商品力の一層の強化を図っています。単にパーツやモジュールを組み合わせるのではなく、シート、ドアトリム、天井、カーペットなどから構成される車室内の空間全体を統合的・効率的にコーディネートされたシステムとして捉え、トータルの美しさや快適性・安全性を追求しているのももちろん、製造から廃棄までの各段階における環境負荷の軽減を徹底しています。今後は繊維・外装品事業とも連携しながら電子技術の強化と拡大、シート機能開発の強化などの取り組みをすすめてまいります。

増産による効果に加え、年々高度化する社会のニーズ、自動車メーカーからの要請にタイムリーに応えることにより、連結売上高は、前期に比べ1,916億円(24.5%)増加の9,735億円となりました。

内装品事業の売上高推移(億円)



当期より内部管理上の区分を改めたことに伴い、一部の製品(シートベルト、エアバッグ基布・袋体等)について区分の組替をしております。[]内は組替前



シート



ドアトリム



フロアカーペット



電動サンシェード



成形天井



天井大型イルミネーション



フィルター・パワートレイン機器部品事業 —— 世界トップの自動車用フィルターメーカーとして、より高性能な製品づくりを追求。

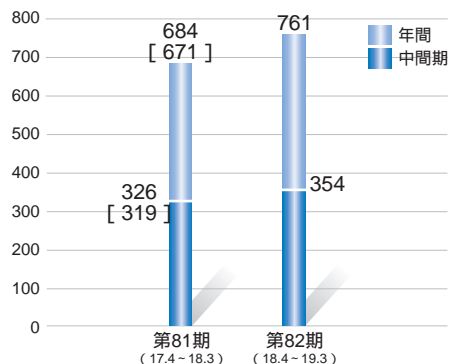
当社の源流事業である繊維技術を活かして、世界をリードするフィルトレーション技術の向上に努めており、高効率、長寿命、低圧力損失を実現する世界トップのフィルター製品を開発・製造してきました。エンジン吸気系ではエンジンの高効率化や小型・軽量化に対応した吸気システム製品を、またエンジン潤滑系では環境負荷を大幅に低減したエレメント交換型オイルフィルターを、さらに車室内空調系では高性能除塵脱臭フィルターや高性能花粉除去フィルターなどを開発・生産しています。今後はエンジン性能と関連する吸気系や潤滑系のシステム開発を強化してまいります。

連結売上高は、エアフィルターの増産などにより前期に比べ77億円（11.3%）増加の761億円となりました。

吸気システム製品



フィルター・パワートレイン機器部品事業の売上高推移(億円)



当期より内部管理上の区分を改めたことに伴い、一部の製品(シートベルト、エアバッグ基布・袋体等)について区分の組替をしております。[]内は組替前

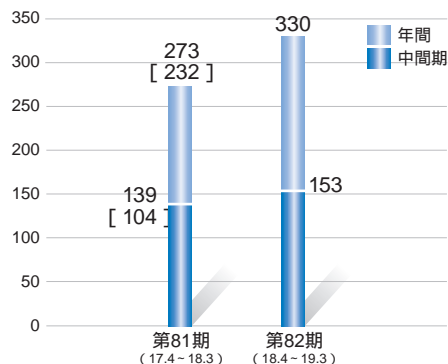
繊維・外装品事業 —— 新規素材の開発をはじめ、より一層の快適性の追求や環境にやさしい製品づくりを推進。

時代のニーズを先取りして、より一層の快適性・高機能を追求した製品づくりを進めています。繊維事業では、自動車用カーテンシールドエアバッグをはじめシートファブリックや天井表皮材、および高機能ユニフォームなどの分野で新規素材の開発を行っているほか環境にやさしい製品づくりへの取り組みを積極的に推進しています。今後は内装品事業と連携してファブリックやカーペット、エアバッグ、シートベルトなどの技術開発力の強化、ファブリックのデザイン力強化に取り組んでまいります。また外装品の分野では高度な安全性を要求される補給用バンパー、フェンダーライナーの生産を行っています。

連結売上高は、前期に比べ57億円(21.0%)増加の330億円となりました。



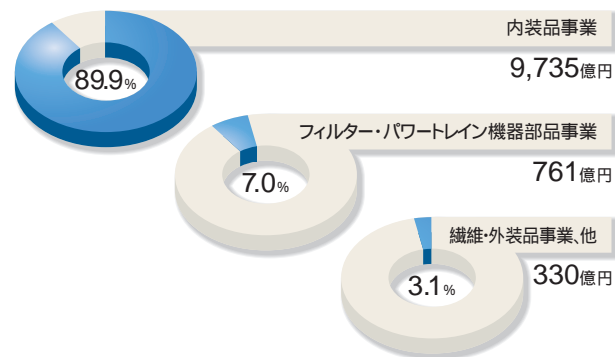
繊維・外装品事業、他の売上高推移(億円)



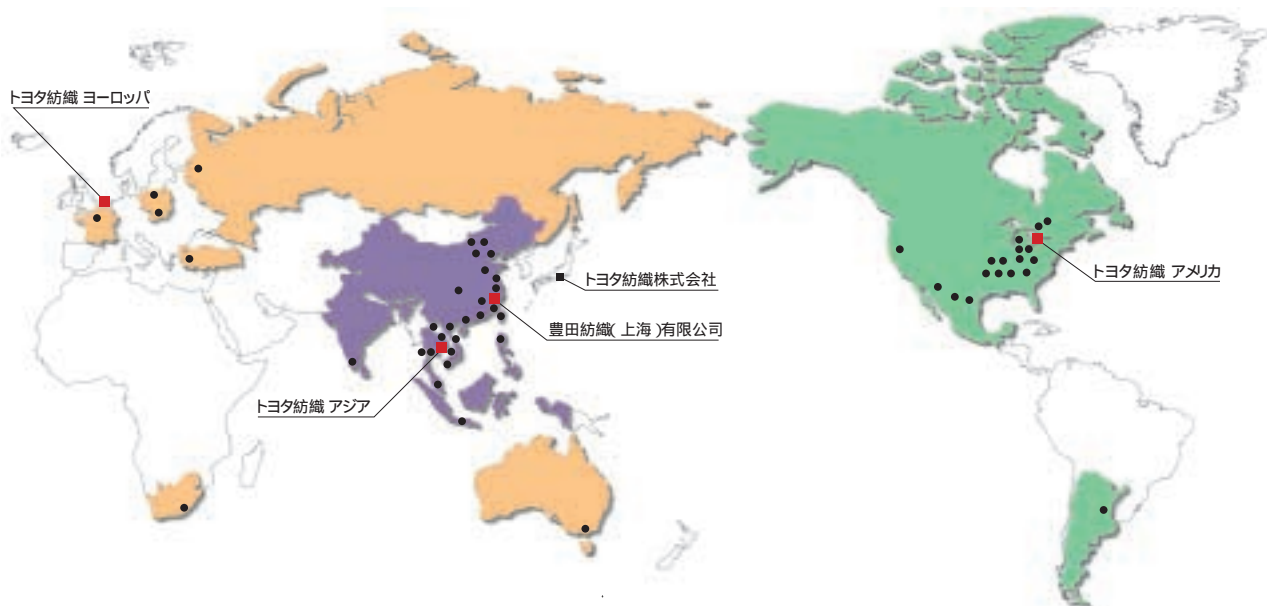
当期より内部管理上の区分を改めたことに伴い、一部の製品(シートベルト、エアバッグ基布・袋体等)について区分の組替をしております。[]内は組替前

事業別情報

各事業の売上構成(第82期 18.4 - 19.3)



■…………地域統括・開発・営業拠点
●…………生産拠点



海外関係会社 (平成19年3月31日現在)

アジア

地域統括・開発・営業拠点 / 豊田紡織(上海)有限公司 トヨタ紡織 アジア
生産拠点 / 成都豊田紡織自動車部有限公司 豊愛(広州)自動車座席部有限公司 広州桜泰自動車飾件有限公司 昆山豊田紡織自動車部有限公司 寧波亜楽克自動車部有限公司 寧波豊田紡織自動車部有限公司 上海豊田紡織自動車部有限公司 天津豊愛自動車座席部有限公司 天津英泰自動車飾件有限公司 天津華豊自動車装飾有限公司 天津豊田紡織自動車部有限公司 佛山豊田紡織自動車部有限公司 新三興股份有限公司 トヨタ紡織 オートモーティブ
インドア アパディバインド オートテック トヨタ紡織 UMW トヨタ紡織 フィリピン ARST(タイランド) SK オート インテリア STB テキスタイルズ インダストリー タイ オートモーティブ シーテイング アンド インテリア タイシートベルト トヨタ紡織 フィルトレーション システム(タイランド) トヨタ紡織 ハイフォン トヨタ紡織 ハイノイ 他1社

北中南米

地域統括・開発・営業拠点 / トヨタ紡織 アメリカ
生産拠点 / ARJ マニファクチャリング エコテクノロジー TBDN テネシー トータル インテリア システムズ アメリカ トヨタ紡織 マニファクチャリング ケンタッキー トリム マスターズ トヨタ紡織 カナダ アラコ デメキシコ トヨタ紡織 モンテレー マスタートリム デアルゼンチン 他13社

その他

地域統括・開発・営業拠点 / トヨタ紡織 ヨーロッパ
生産拠点 / トヨタ紡織 フランス TBMECA ポーランド トヨタ紡織 ロシア トリム リーダー トヨタ紡織 トルコ トヨタ紡織 南アフリカ トヨタ紡織 オーストラリア 他1社

連結子会社および関連会社 (平成19年3月31日現在)

	子会社	関連会社
日本	16社(16社)	4社(4社)
北中南米	23社(22社)	1社(1社)
アジア	23社(24社)	5社(5社)
その他	7社(6社)	2社(2社)

(内は前期)

国内関係会社

(平成19年3月31日現在)

アイホー株式会社	株式会社TB岩手	トヨタ車体精工株式会社
アラコ九州相知株式会社	株式会社TBエンジニアリング	トヨタ紡織九州株式会社
エーアールサービス株式会社	TBクリエイティブ株式会社	トヨタ紡織滋賀株式会社
株式会社KYOEI ARACO	TBトランスポート株式会社	ナルコ株式会社
グリーン化成株式会社	株式会社ティービーサービス	ハイニード工業株式会社
株式会社コベルク	株式会社ティービーハイテック	ファミック株式会社
タカテック株式会社	株式会社テクニカルリンクスデザイン	<五十音順>

地域別の概況

日本

国内売上高は、トヨタ自動車株式会社のカムリ、エスティマ、カローラ、プレミアムブランドのレクサスES・LSのモデルチェンジなど内装品生産が増加したことにより、前期に比べ1,119億円(20.6%)増加し、6,554億円となりました。

北中南米(アメリカ・カナダ・メキシコ・アルゼンチン)

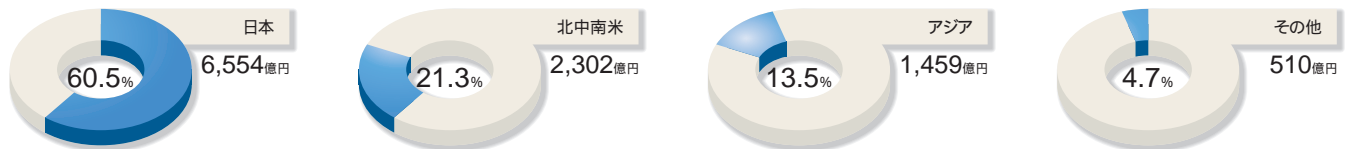
北中南米での売上高は、メキシコでゼネラル モーターズのシボレーHHRのシート生産が本格稼動をはじめたことなど生産台数が増加したことにより、前期に比べ50億円(2.2%)増加し、2,302億円となりました。

アジア(中国・タイ・ベトナム・フィリピン・インドネシア・インドなど)

アジアでの売上高は、中国でトヨタ自動車株式会社のクラウン、マークX、カムリの内装品 生産が増加したこと、タイ、ベトナムでIMVシリーズの生産が増加したこと、ベトナムでカーテンシールドエアバッグの生産が増加したことなどにより、前期に比べ687億円(89.0%)増加し、1,459億円となりました。

その他(トルコ・南アフリカ・オーストラリアなど)

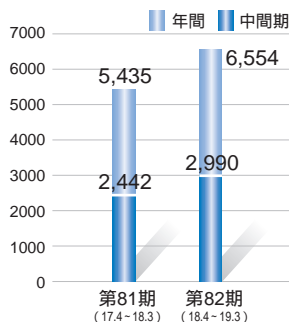
その他地域での売上高は、オーストラリアでトヨタ自動車株式会社のカムリがモデルチェンジし内装品 生産が増加したことなどにより、前期に比べ194億円(61.5%)増加し、510億円となりました。



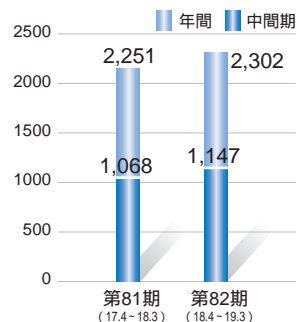
内装品...シート、ドアトリムなど

売上高の推移(億円)

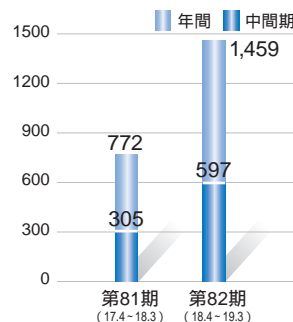
国内売上高の推移



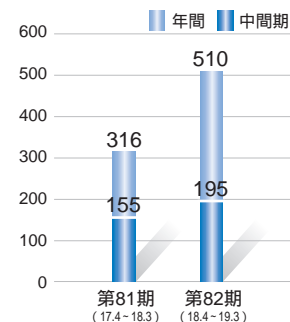
北中南米売上高の推移



アジア売上高の推移



その他地域の売上高の推移



グローバル展開

ロシアとカナダに生産子会社を設立。中国、南ア、フランスの生産子会社で生産を開始。

平成18年4月にロシア連邦サンクトペテルブルク市に豊田通商株式会社との合併で、シートの生産子会社「トヨタ紡織ロシア」を、また7月にはカナダ・オンタリオ州ウッドストック市にシート、ドアトリムなど内装品の生産子会社「トヨタ紡織カナダ(当社100%出資)」を設立しま

新たに設立した会社

国	設立	社名	生産品目	備考
ロシア	平成18年4月	トヨタ紡織ロシア	シート	豊田通商株式会社との合併
カナダ	平成18年7月	トヨタ紡織カナダ	シート、ドアトリム、カーペット	

生産を開始した会社

国	生産開始	社名	生産品目	備考
中国	平成18年4月	広州桜泰汽車飾件有限公司	シート、ドアトリム、成形天井 他	
中国	平成18年4月	豊愛(広州)汽車座椅部件有限公司	シートフレーム、シート用機能部品	アイシン精機株式会社との合併
中国	平成18年7月	佛山豊田紡織汽車零部件有限公司	オイルフィルター、エアフィルター	株式会社デンソーとの合併
南アフリカ	平成18年4月	トヨタ紡織南アフリカ	シート、ドアトリム 他	豊田通商株式会社との合併
フランス	平成18年5月	トヨタ紡織フランス	補給用バンパー	

した。中国でシートなど内装品の生産子会社2社と自動車用フィルターの生産子会社1社、南アフリカでシートなど内装品の生産子会社1社、フランスでバンパーの生産子会社1社がそれぞれ生産を開始しました。



トヨタ紡織 南アフリカ開所式

国内展開

滋賀県に自動車部品生産会社を設立。

平成18年9月、滋賀県甲賀市に自動車用フィルター・パワートレイン機器部品、内装品、補給用バンパーを生産する「トヨタ紡織滋賀株式会社」を設立しました。ダイハツ工業株式会社に納入する

初めての専用生産拠点として、樹脂成形部品を中心とした各種部品を生産し、ダイハツ工業株式会社の滋賀工場、京都工場、池田工場、西宮部品センターに供給します。現在、平成19年8月の生産開始に向け、工場建設をすすめています。

技術

内装システムサプライヤーとして多くの車種を受注し、国内外で生産を開始。

当社グループでは、自動車用内装システムサプライヤーとして国内外でクルマづくりの一翼を担っています。国内ではトヨタ自動車株式会社のレクサスブランド旗艦車種であるLS、海外ではカムリなどが生産開始となりました。

国内生産開始車種

トヨタ車：カローラアクシオ / カローラフィールダー / オーリス / プレイド
レクサスブランド：レクサスLS



レクサスLS

海外生産開始車種

トヨタ車：カムリ(台湾、中国、オーストラリア、タイ) / 世界戦略車IMVシリーズ(南アフリカ、インドネシア) / ヤリス(台湾、タイ) / クラウン(中国) / タンドラ(北米) / カローラ(トルコ) / ヴィオス(タイ) / ハイエース(マレーシア)



プレイド

環境

トヨタ紡織グループ「グローバル環境・安全衛生活動」キックオフ。

トヨタ紡織グループ全体の環境負荷低減、職場の安全向上と働く人の健康増進のため「グローバル環境・安全衛生活動」を開始しました。国内では平成18年9月、子会社14社も組み込んだ「国内グループ環境・安全衛生委員会」を発足し、海外では平成18年11月から順次、4つの地域統括会社に「地域別環境・安全衛生委員会」を設置しました。これにより一層グローバルな視点での活動、地域に即した取り組み、効果的な横展開が図れるようになりました。

「第10回環境経営度ランキング」製造業部門で全国40位に。

平成18年12月、日本経済新聞社がまとめた「第10回環境経営度調査」において、当社は製造業の部門(全541社)で全国40位にランクインしました。同調査は、アンケートにより環境活動の運営体制や、汚染対策、資源循環、温暖化対策への取り組みを評価するもので、当社は各工場の継続的な取り組み、国内グループ会社への活動展開、ポリ乳酸の早期採用など、先進的な取り組みが評価され、平成17年の189位から大幅にランクアップしました。

社会貢献

インドネシアで「熱帯林再生プロジェクト」を遂行。

平成18年12月5日、インドネシアにおける「熱帯林再生プロジェクト」の開始記念式典を開催しました。平成18年度の植林作業は例年にない雨不足のなかすすめられましたが、トヨタ紡織の現地法人アバディバリンドオートテックをはじめ現地スタッフの努力により無事終了しました。このプロジェクトは「グローバル社会貢献プログラム」の一環として、インドネシア林業省、国立公園管理事

務所、日本のNGO団体(財)国際緑化推進センター等の協力のもとすすめられています。5年間で「トヨタ紡織グループ環境の森(150ha)」の造成や自然環境保全を行うとともに、植林作業への雇用を通じて周辺住民への経済支援を図っていきます。



プロジェクトのユニフォームを着て記念植樹

スポーツ推進活動

「男子舵手なしフォア」で、日本初の金メダルを獲得。

当社ボート部の奥村六郎選手(高岡工場)と東山雄也選手(安全衛生部)が「第15回アジア競技大会2006/ドーハ」に出場し、平成18年12月7日、ボート競技「男子舵手なしフォア」で明治安田生命保険相互会社の片岡、佐藤両選手とともに日本初の金メダルに輝きました。

東山選手(中央左)と奥村選手(中央右)
写真提供:中日新聞社

「ニューイヤー駅伝」で5位2年連続入賞。

平成19年元旦、当社陸上部は、実業団日本一を決める「ニューイヤー駅伝2007」に出場し5位入賞を果たしました。昨年度の7位入賞(8位以内)に続いて2年連続の快挙となりました。



ゴール目の積谷選手

決算概要

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (19.3.31現在)	前 期 (18.3.31現在)
【資産の部】		
流動資産	267,325	220,637
現金及び預金	50,918	38,107
受取手形及び売掛金	153,363	133,456
有価証券	10,571	1,708
たな卸資産	26,736	25,309
繰延税金資産	5,616	5,003
その他	20,726	17,353
貸倒引当金	608	302
固定資産	197,422	176,054
有形固定資産	164,723	145,683
建物及び構築物	57,956	49,761
機械装置及び運搬具	69,944	53,864
工具器具備品	13,765	11,273
土地	17,718	16,399
建設仮勘定	5,338	14,384
無形固定資産	3,944	3,697
のれん		49
その他	3,944	3,647
投資その他の資産	28,753	26,674
投資有価証券	12,851	10,313
繰延税金資産	11,890	11,224
その他	4,168	5,292
貸倒引当金	156	155
合 計	464,747	396,691

科目	当 期 (19.3.31現在)	前 期 (18.3.31現在)
【負債の部】		
流動負債	236,935	198,791
支払手形及び買掛金	158,226	137,094
短期借入金	22,662	19,643
一年以内返済予定の長期借入金	1,293	1,890
未払費用	27,089	22,381
未払法人税等	7,095	4,616
製品保証引当金	2,280	2,148
その他	18,286	11,017
固定負債	30,015	31,357
長期借入金	6,214	7,290
退職給付引当金	20,008	19,565
役員退職慰労引当金	755	715
負のれん	73	
その他	2,962	3,786
負債計	266,950	230,149
【少数株主持分】		
少数株主持分		33,263
【純資産の部】		
株主資本	156,795	130,428
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,104	9,013
利益剰余金	139,664	113,243
自己株式	373	229
評価・換算差額等	4,056	2,851
その他有価証券評価差額金	1,937	2,050
繰延ヘッジ損益	58	
為替換算調整勘定	2,060	800
新株予約権	16	
少数株主持分	36,929	
純資産計	197,797	133,279
合 計	464,747	396,691

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (18.4.1-19.3.31)	前 期 (17.4.1-18.3.31)
売上高	1,082,755	877,596
売上原価	995,095	810,780
売上総利益	87,659	66,816
販売費及び一般管理費	39,278	33,051
営業利益	48,381	33,764
営業外収益	8,638	7,466
受取利息及び配当金	1,538	1,171
その他	7,099	6,295
営業外費用	4,876	3,392
支払利息	1,681	943
その他	3,195	2,448
経常利益	52,143	37,838
特別利益	1,030	
固定資産売却益	99	
米国子会社の健康保険料返戻金	930	
特別損失	2,283	
固定資産売却損	36	
米国子会社の過年度仕入修正損	2,246	
税金等調整前当期純利益	50,889	37,838
法人税、住民税及び事業税	15,991	12,833
法人税等調整額	923	1,279
少数株主利益	5,716	5,097
当期純利益	30,105	21,187

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (18.4.1-19.3.31)	前 期 (17.4.1-18.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1	72,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	2	45,948
財務活動によるキャッシュ・フロー	3	5,885
現金及び現金同等物に係る換算差額		509
現金及び現金同等物の増加額(減少額:)		20,832
現金及び現金同等物の期首残高		39,256
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加		1,671
現金及び現金同等物の期末残高		60,089
		39,256

- 1 営業活動によるキャッシュ・フローとは営業活動で生じる現金収支を表します。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フローとは設備投資や出資といった投資活動で生じる現金収支を表します。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フローとは資金の調達・返済、配当金の支払いといった財務活動で生じる現金収支を表します。

単独貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (19.3.31現在)	前 期 (18.3.31現在)
【資産の部】		
流動資産	144,867	125,707
現金及び預金	9,187	8,431
受取手形	5,138	3,780
売掛金	95,378	86,512
有価証券	10,078	1,196
製品	1,731	1,464
原材料	3,500	2,606
仕掛品	3,505	5,070
貯蔵品	1,303	1,143
前払費用	1,970	1,250
繰延税金資産	4,538	4,240
短期貸付金	286	1,713
未収入金	7,965	8,021
その他	334	354
貸倒引当金	53	79
固定資産	141,836	129,625
有形固定資産	75,424	70,379
建物	27,078	26,758
構築物	2,344	2,114
機械装置	23,926	21,801
車両運搬具	438	310
工具器具備品	8,244	7,041
土地	13,350	12,246
建設仮勘定	40	106
無形固定資産	320	309
借地権	269	269
施設利用権	50	39
投資その他の資産	66,091	58,936
投資有価証券	4,126	3,138
関係会社株式・出資金	40,168	36,132
出資金	103	330
長期貸付金	10,401	8,346
長期前払費用	657	803
繰延税金資産	10,164	9,715
その他	602	604
貸倒引当金	132	134
合 計	286,703	255,332

単独損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (18.4.1-19.3.31)	前 期 (17.4.1-18.3.31)
売上高	678,259	567,305
売上原価	639,147	536,213
売上総利益	39,112	31,092
販売費及び一般管理費	20,095	18,287
営業利益	19,016	12,804
営業外収益	7,138	7,544
受取利息及び配当金	4,493	4,419
その他	2,645	3,124
営業外費用	2,020	1,502
支払利息	38	52
その他	1,982	1,449
経常利益	24,134	18,847
特別利益	99	
固定資産売却益	99	
特別損失	16	
固定資産売却損	16	
税引前当期純利益	24,217	18,847
法人税、住民税及び事業税	7,998	6,237
法人税等調整額	672	673
当期純利益	16,891	13,283
前期繰越利益		3,316
中間配当額		1,311
自己株式処分差損		7
当期末処分利益		15,280

科目	当 期 (19.3.31現在)	前 期 (18.3.31現在)
【負債の部】		
流動負債	145,055	126,522
支払手形	919	982
買掛金	110,814	100,365
一年以内返済予定の長期借入金	625	1,250
未払金	8,517	4,699
未払費用	17,361	14,610
未払法人税等	4,371	2,421
製品保証引当金	1,928	1,835
その他	517	356
固定負債	25,493	25,835
長期借入金	5,000	5,625
退職給付引当金	18,560	18,215
役員退職慰労引当金	688	684
預り保証金	1,245	1,309
負債計	170,548	152,357
【純資産の部】		
株主資本	114,202	100,925
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,104	9,013
資本準備金	9,013	9,013
その他資本剰余金	90	
自己株式処分差益	90	
利益剰余金	97,071	83,741
利益準備金	2,412	2,412
その他利益剰余金	94,659	81,329
特別償却準備金	29	70
固定資産圧縮積立金	963	1,064
別途積立金	74,913	64,913
繰越利益剰余金	18,752	15,280
自己株式	373	229
評価・換算差額等	1,936	2,049
その他有価証券評価差額金	1,936	2,049
新株予約権	16	
純資産計	116,154	102,975
合 計	286,703	255,332

期末配当金について

平成19年6月21日開催の株主総会において、平成19年3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり期末配当金をお支払いします。

1. 期末配当金.....1株につき15円
2. 効力発生日ならびに支払開始日.....平成19年6月22日

会社の概況

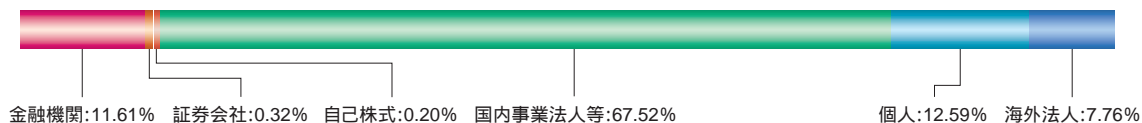
株式の状況

(平成19年3月31日現在)

株式の総数 …… 発行可能株式総数 500,000,000株 発行済株式の総数 187,665,738株

株主数 …… 15,648名

所有者別株式分布状況

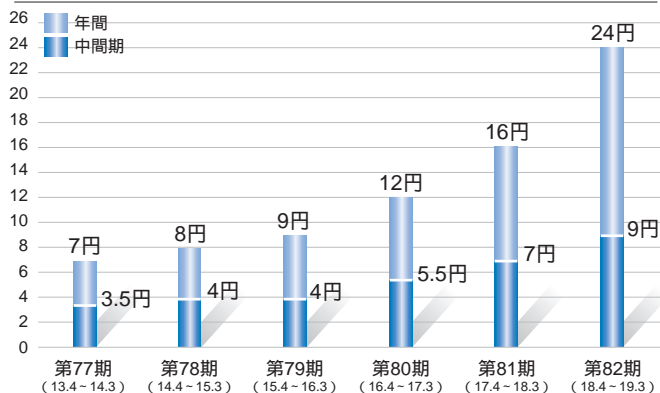


大株主(上位10位)

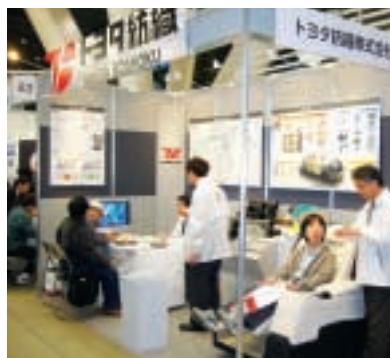
株主名	株式数
トヨタ自動車株式会社	73,873,995株
東和不動産株式会社	18,346,209株
株式会社デンソー	10,192,100株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	8,591,200株
株式会社豊田自動織機	7,756,062株

株主名	株式数
日本発条株式会社	7,220,525株
豊田通商株式会社	4,367,100株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,240,600株
資産管理サービス信託銀行株式会社	2,383,800株
トヨタ紡織従業員持株会	1,519,919株

配当金の推移



IR活動



第9回ノムラ資産管理フェア

株主及び投資家のみなさまに、当社の事業内容をより深くご理解いただくため、個人投資家・証券専門家向け説明会の実施やIRイベントへの出展などのIR活動を積極的に実施しております。

会社概要

(平成19年3月31日現在)

設 立	昭和25年5月
資 本 金	8 400百万円
従業員数	6,783名
本 社	愛知県刈谷市豊田町一丁目1番地

国内拠点

(平成19年3月31日現在)

刈 谷 工 場	猿 投 工 場	田 原 工 場
大 口 工 場	高 岡 工 場	御 殿 場 工 場
い な べ 工 場	土 橋 工 場	東 京 工 場
木 曾 川 工 場	下 山 工 場	東 京 営 業 所
尾 西 工 場	藤 岡 工 場	大 阪 営 業 所
堤 工 場	豊 橋 北 工 場	
岐 阜 工 場	豊 橋 南 工 場	

役員一覧

(平成19年6月21日現在)

取締役および監査役

取締役会長	好川 純一	専務取締役	川窪 英夫	取締役(常務待遇)	伊藤 文隆	監査役	豊田 章男
取締役社長	豊田 周平	常務取締役	栗谷 本強	取締役	岡本 一雄	監査役	深谷 紘一
取締役副社長	野口 満之	常務取締役	内藤 正	取締役	小川 王幸		
取締役副社長	小野 博祥	常務取締役	古澤 昭	常勤監査役	今泉 潔		
取締役副社長	鳥居 立雄	常務取締役	寺坂 幸一	常勤監査役	横内 則之		
専務取締役	中川 泰	取締役(常務待遇)	古田 潔	監査役	石川 忠司		

執行役員

常務執行役員	渡辺 俊充	常務執行役員	宮田 徹	執行役員	野田 憲一	執行役員	滝 隆道
常務執行役員	飯田 耕次	執行役員	千石 郁夫	執行役員	杉江 保彦	執行役員	西岡 義彦
常務執行役員	原 保信	執行役員	上田 広司	執行役員	尾関 信幸	執行役員	堀 弘平
常務執行役員	桂木 正樹	執行役員	清水 匠	執行役員	大島 誠	執行役員	山内 得次
常務執行役員	酒井 賢	執行役員	山本 直	執行役員	山田 義広	執行役員	森 久

株式事務のお取扱いについて

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会：毎年6月

配当金のお支払い：期末配当金は毎年3月31日現在の株主(実質株主を含む)。または登録株式質権者に、中間配当金を支払う場合は9月30日現在の株主(実質株主を含む。)または登録株式質権者にお支払いします。

株主名簿管理人：〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所：〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711

(同連絡先郵送先)：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711

同取次所：三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 本店および全国各支店
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料)0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)
ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告掲載方法：電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.toyota-boshoku.co.jp/jp/>

上場証券取引所：東京および名古屋の各証券取引所

本社所在地：〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町一丁目1番地 電話(0566)23-6611(代表)